

学び合いながら生きる力を高める生徒の育成

～新聞の有効な活用を通して、自分と社会を結びつけるこども～

聖籠町立聖籠中学校



1 学校の概要

聖籠中学校（榎田博之校長，生徒数399人）は，県内で最初に教科センター方式を取り入れ，2001年に開校した。「日本一いきいきとした中学校」という建学の精神のもとで，2016年度に開校16年目を迎えた。

教育目標に「より善い生き方を追求する生徒」を掲げ，学習や行事，部活動に励んでいる。地域とともに育ち育てるコミュニティ・スクールとして，毎年3月に保護者や地域の方々と「聖籠中学校の未来を語る会」を開き，1年間の成果や課題を共有している。

生徒会では4月初めに，入学したばかりの1年生が学校生活に慣れるように，全校縦割り班でクイズラリーを行い交流を深めた。年2回の愛校週間では，各委員会が学校に貢献できることは何かを考えて活動している。

小中連携事業として年2回，地域ぐるみであいさつ運動を行ったり，部活動体験を実施したりして社会性の育成を図っている。

部活動が盛んで，今年度は6つの運動部と水泳，吹奏楽部が県大会出場を果たした。



2 N I E実践のねらい

本校の研究主題は，平成27年度は，「学び合いながら自分の力を高める生徒の育成」とし，生徒の力を一層高めるために「学び合い」を取り入れた授業の展開と，「ねらい」「課題」「まとめ」「振り返り」のある授業についての研修を進めてきた。平成28年度は，「学び合いながら生きる力を高める生徒の育成」とし，昨年度に引き続き，有効な「課題」の在り方や授業の中での「ねらい-課題-まとめ-振り返り」の整合性を検証し，生徒が主体的・協働的に学習に取り組み，確かな学力を身につけるために研修を進めてきた。そこでN I E活動を通して，授業の学習内容と自分の生活を関連付けることで学習への意欲を喚起したり，新聞記事を使って読む・書く活動を通して基礎的・基本的な知識・技能の習得をしたりすることを目指す。さらに新聞を教育活動の中に取り入れることで，世の中のできごとに関心を持ち自己の生き方を考え，それらを言葉や行動に表すことができる表現力を伸ばしたい。また，実践発表後も生徒の学力向上と自己実現のために，継続可能なN I E活動を教育活動に取り入れていく。

3 本年度の実践の概要

(1) N I Eに関連する職員研修や研究授業実践

時期	実施内容
4月	○NIE実践計画提案
5月25日	○道徳教育研修・NIE研修① 公開授業（道徳），協議会 指導者 下越教育事務所指導主事 若林靖人 様
10月12日	○道徳教育研修・NIE研修② 公開授業（社会），協議会 指導者 下越教育事務所指導主事 若林靖人 様
10月25日	○NIE研究発表会参加（長岡市立栖吉中学校）
11月13日	○二市北蒲中教研社会科部会 公開授業，協議会
11月17日	○道徳教育研修・NIE研修③ 県中教研（下越）道徳1年次発表会，NIE1年次発表会 指導者 下越教育事務所指導主事 若林靖人 様
11月22日	○NIE研究発表会参加（弥彦村立弥彦中学校）
2月	○1年次の実践のまとめ
3月	○2年目の実践方向の検討

（2）日常活動における新聞の活用

- ①全校生徒が朝活動で新聞記事を読み，要約し，感想を書く。
- ②朝学活で日直が今日の気になるニュースを発表する。
- ③新聞に親しむ環境作りとして，各学年スペース，図書室，社会科教室に新聞を置く。廊下に今日の1面の新聞コーナーを作る。



- ④夏季休業中の社会科の課題として1・2・3年生に新聞感想文を課し，コンクールに応募する。

4 実践例

3年5組 道徳 学習指導案

平成28年5月27日（金） 5限
授業者 田邊 和史

- 1 主題名 充実した生き方(資料名:夏の終わりに)内容項目1-(5)

2 主題のねらい

- ・自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばし、充実した生き方を追求する。


3 主題について（省略）

4 本時

（1）本時の目標

- ・「夢の追求」と「社会的安定」の立場で、議論することにより、充実した生き方について考える。

（2）展開（一部省略）

段階	生徒の学習内容・学習活動	教師の指導・支援・働きかけ	評価・配慮点
導入 5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ねらい 「夢の追求」と「社会的安定」の立場で、議論することにより、充実した生き方について考える。</p> </div>		
展開 30分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>課題 「バンド活動を続けるべきか」、「帰郷して就職するべきか」</p> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えをまとめる。根拠も書く。（5分） ○立場ごとに席を移動する。 ○それぞれの立場の根拠を発表する。（8分） ○それぞれの立場への質問や意見、反論をする。意見を言いやすくするため、相談タイムを設ける。（15分） ○教師の問いかけに対し、意見を言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの立場の人数を確認する。 ○それぞれの立場の根拠を発表させ、板書する。（白チョーク） ○お互いの根拠への質問や意見、反論を言い合わせ、板書する。（黄色チョーク） ○バンドを続ける立場の生徒への問いかけを行う。 ○帰郷して就職する立場の生徒への問いかけを行う。 ○印象に残った意見をそれぞれの立場で、ワークシートに書かせる。 	<p>〔重点〕UDL5 〔重点〕思考力・判断力・表現力を高める</p>
まとめ 10分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ 議論後、光司は、どうすべきか自分の考えを書きましょう。</p> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の意見をまとめる。（3分） 		<p>〔重点〕言語活動</p>

振り返り 5分	○書いたものを発表する。 (3分)	○書いたものを発表させる。 ○新聞の投書欄の記事を 紹介する。(4分) 朝日 新聞(2016年3月 30日投稿記事)	
	振り返り 感想を記入する。		

(4) 本時の評価

項目	A	B
充実した生き方について考えることができたか。	他の意見を聞くことにより、充実した生き方について考えを広げ、深めることができた。	充実した生き方について考えることができた。

3年2組 社会科(公民的分野) 学習指導案

平成28年10月13日(木) 5限

授業者 教諭 菅谷 啓子

1 単元名 「現代の民主政治」

2 単元のねらい

- ・身近で具体的な事例を通して政治に関心を持たせ、主権者として政治に積極的に関わろうとする意欲と態度を育てる。
- ・新聞記事や統計資料など日本の政治に関する資料を提示し、現実の政治の動きをさまざまな視点から捉えさせる。

3 単元観(省略)



4 本時



(1) 本時の目標

- ・選挙の課題の一つである投票率の低さに注目し、投票率を上げるためのキャッチコピーを考えることを通して、政治に参加することの意義を考えることができる。

(2) 展開(一部省略)

段階	生徒の学習内容・学習活動	教師の指導・支援・働きかけ	○評価・配慮点
導入 7分	○教科書P78をペアで音読する。	○学習内容に関わるページの音読をするよう指示する。	○聖中UDL5 ・〔重点1-①〕

<p>展開 1 13分</p>	<p>○今日のねらい，流れを確認する。</p>	<p>○ねらい，流れを確認する</p>	<p>基礎・基本 ・聖中UDL5</p>
	<p>ねらい：現在の選挙の課題を考える。</p>		<p>○課題を探す。 (社会的事象への関心・意欲・態度)</p>
<p>○教科書P78からペアで選挙の課題を2つ探して線を引く。 ○発表する。(棄権が多い。1票の格差)</p>	<p>○教科書P78から選挙の課題を2つ探して線を引くように指示する。 ○発表させて，板書する。</p>		
<p>課題1：この2つの課題が新潟県ではどうなっているか，新聞記事から読み取ろう。</p>			
<p>○新聞記事を読み，新潟県に関する部分に線を引く。(投票率は全国より少ない，6割をきっている，聖籠町は県下最下位。) ○読み取ったことを発表する。 ○見出しを見て読み取る。(全国では，45.45%で，全体より低い，新潟県は38.62%とさらに低い。)</p> 	<p>○新聞記事①を配布し，新潟県について読み取らせる。(新潟日報2016年7月11日，7月12日参議院選挙に関する記事)) ○数名指名し発表をさせて，全体で確認する。 ○新聞記事②を掲示し，18歳，19歳の投票率を見出しに注目させて読み取らせる。</p> 	<p>・〔重点1-②〕課題解決 ・〔重点1-③〕視覚 ・聖中UDL5 ・〔重点1-③〕視覚 ○記事から新潟県の選挙の現状が読み取れている。(資料活用)</p>	
<p>展開 2 25分</p> <p>課題2：若者の投票率を上げるためのキャッチコピーを考えよう。</p>			
<p>(個人) 新聞記事を読み，キーワードに線を引く。 (班) 手順に従ってキャッチコピーを作り，発表する。そのように作った理由も入れる。→発表する。 ○発表を聞く。</p>	<p>○新聞記事③を読んで，3人の意見の中から大事なことだなと思うキーワードを読み取らせる。 ○手順を示し，班でキャッチコピーを作らせ，発表させる。</p>		<p>・〔重点1-②〕課題解決 ・〔重点1-③〕思考力・判断力・表現力 ・〔重点1-④〕 ○選挙の意義を踏まえてキャ</p>

			ッチコピー作ろうとしている。(思考・判断) ・聖中UDL5
まとめ 4分	○まよめの文に続いて、キーワードの中から自分が大事にしたいと思うこと順に、その理由も入れて①～ ②～ ③～を書く。 ○発表を聞く。	○各班の発表を聞いて、キーワードの中から自分が選挙に行くときに大事にしたいと思う順に、その理由も入れて3つ書かせる。 ○発表させ、キーワードを板書する。	・〔重点1-③〕 思考力・判断力・表現力 ○政治に参加する意義を基準に順位をつけている。 (思考・判断) ・聖中UDL5
振り返り 1分	○授業の振り返りを用紙に書く。	○振り返りを用紙に書くよう指示する。	・聖中UDL5

(4) 本時の評価

項目	A	B
選挙の課題を理解し、選挙を通して政治に参加することの意義を考えることができる。	選挙の課題を理解し、自分が選挙に行くときに大事にしたいと思ったことを新聞記事のキーワードを使い書くことができる。また政治に参加する意義にふれた理由が書けている。	選挙の課題を理解し、新聞記事のキーワードを使い政治に参加する意義にふれてまよめを書くことができる。

2年3組 道徳 学習指導案

平成28年11月16日(水) 5限

2年3組担任 木島 靖人

1 主題名 みんなに合わせる友情

(資料名: みんなに合わせる友情 NHK ココロ部より)

内容項目 2 - (3)

2 主題のねらい

- ・相手を思いやり、よりよい人間関係を築くためにどうすればいいか考えることができる。

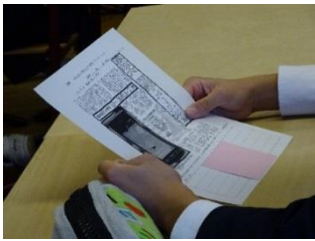
3 主題について (省略)


4 本時

(1) 本時の目標

- ・無料通話アプリの使用を考え、誰のどんな発言や行動が問題で、どうすればよかったのか班の仲間と話し合い、意見をまとめることができる。
- ・日常生活での友達のやりとりを振り返り、よりよい関係を築くために大切なことについて考えることができる。

(2) 展開 (一部省略)

段階	生徒の学習内容・学習活動	教師の指導・支援・働きかけ	評価・配慮点
導入 10分		<p>○スマホのアプリ「LINE」 新聞記事を提示する。(新潟 日報2013年5月13日 LINEに関する記事)</p>	<p>・聖中UDL5</p>
	<p>ねらい 仲間とのよりよい付き合い方について考える。</p>		
	<p>課題1 エリカの発言に対して、このあと、コジマ君はどう返事をするか、隣の人と話してみましよう。</p>		
	<p>○隣の人と話をする。</p>	<p>○1分を計り、話をさせる。 ○2人程度に意見を発表させる。</p>	
展開 35分		<p>○DVDの後半を全て視聴する。</p>	
	<p>課題2 DVDを見て、何が問題だったの考えよう。</p>		
	<p>○赤付箋に、DVDから分かる問題点を書く。</p> <p>○班の形になる。</p> <p>○ファシリテーター(班長が中心となって班の意見を集約していく。</p> <p>○班の中で自分の意見を発表させる。</p> <p>○発表の準備をする。</p>	<p>○赤付箋を1人3枚配布する。目標3枚書くように指示する。(3分)</p> <p>○話し合いの準備の指示を出す。</p> <p>○話し合い・まとめることを指示する。(20分)</p> <p>1.問題点を出し合う。 2.問題点をグルーピングする。小見出しをつける 3.解決方法を考える。 ライターは、青で書く。</p> <p>○タイマーを20分セットする。時間を意識させる。話</p>	<p>【重点】 思考力・判断力・表現力を高める</p> <p>模造紙に、指示とまとめ方を書いたものを黒板に掲示する。</p>

		し合いが進まない班には、ファシリテーターに助言をする。 ○2～3班，発表させる。	
まとめ 5分	○資料について聞く。	○資料を配付する。 資料を音読する。	私たちの道徳 p 6
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> まとめ よりよい関係を築くために行動していきたいことについて具体的に記入しよう。 </div>		
		○具体的書かせるために、私も外されるのがイヤで同調してしまったことがあったので・・・など書き始めを口頭で説明する。	〔重点〕言語活動 理由や実際のこと

(4) 本時の評価

項目	A	B
日常生活での仲間とのよりよい付き合い方について考えることができか。	仲間とのよりよい付き合い方について考えを広げ深めることができた。	仲間とのよりよい付き合い方について考えることができた。

5 成果

生徒の学期末アンケート項目「週に一度は新聞を読んだり読書をしたりしている」と回答する生徒が60%以上を目標としたが，1学期は50%，2学期は56%であり目標には達しなかったが若干伸びた。「生徒の間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができている」と回答する生徒が70%以上を目標とし，1学期は93%，2学期は92%であった。全国学力学習状況調査生徒質問「新聞を読んでいる(月1回以上)」では全国平均を目標とし，全国は35%，聖籠中は34，5%と少し及ばなかった。次年度は授業で新聞記事を取り入れたり，日常活動を工夫したりして，目標を達成したい。

